

目的絞る個人ツアー強化

沖縄県の旅行大手、中央ツーリスト(那覇市、宮平良一社長)は、旅の目的を絞った個人向け旅行商品の開発を強化する。10月31日に宮古島で開催されるマラソンに参加するツアーの販売を始めたほか、結婚相手を探す「婚活」ツアーを企画。年内に「目的限定型」の旅行商品を現在の2倍の12種類程度に増やし、多様なニーズに対応する。

中央ツーリスト 「マラソン」や「婚活」



アウトレットモールを巡るツアーなども販売する(那覇市の本店)

代、送迎など含む)。

11月には福岡市のヤフードームを貸し切り、野球をするツアーを開催。このほか、ウオーキングラリーなど県内外のスポーツイベントに参加する旅行商品を拡充する。婚活を目的とした旅行商品は年内にも投入する。県内の顧客向けに男女20人程度を集め、沖縄本島をバスで巡る1泊2日のツアーを検討中。夜は地元のお笑いタレントが司会を務めるイベント

などを開き、参加者に親交を深めてもらう。反響が良ければ県外向けの商品開発に着手する方針だ。

型旅行商品の第1弾とし「三井アウトレットパーク入間」(埼玉県入間市)など関東の3つのアウトレットで買い物を楽しむツアーを発売。7月

末にはひざ疾患を抱える患者向けに関節装具の製作や筋力トレーニングを提供する沖縄旅行商品を企画した。

一行商品を取りそろえ、新たな需要を開拓したい」と話す。同社は1974年設立。2011年3月期の売上高は前期比29%増の54億円の見通し。

コヨウ、インドで川浄化 納豆菌入りブロック使用

コンクリートブロック製造販売のコヨウ(福岡県みやま市、古賀雅之社長)は水質を浄化する納豆菌入りブロックをインドで拡販する。汚染が深刻化している河川にこのブロックを投入し、水中の窒素化合物を分解する。独自技術を武器に、

水処理のインフラの整備が進んでいないアジアで環境関連需要を取り込む。海外売上高比率を現在の半分から2年以内に6割に高める。

同社の納豆菌入りブロックは生きたままの納豆菌と菌の餌となる微生物をセメントに混ぜて製造する。菌は水中で30分ごとに増殖し、汚染の原因となる過剰なアミノ酸やアンモニアなどの窒素化合物を分解。植物の養分となる窒素ガスや硝酸に

インドの都市部などは、汚染原因となる窒素化合物の含有量が多く悪臭も強い河川が多いという。水処理施設などのインフラ整備が進んでいないのが、一気に拡販するとは難しく、水質浄化のための対策が課題になっている。

福岡株式 25日

9、11月に集中開催

見本市 情報産業協会 APECC会合機に

旅行業界では観光名所や景勝地を訪れる従来型旅行商品は苦戦している。このため同社は「スポーツ・健康」や「婚活」など、最近の消費者の関心が高いとされる分野と

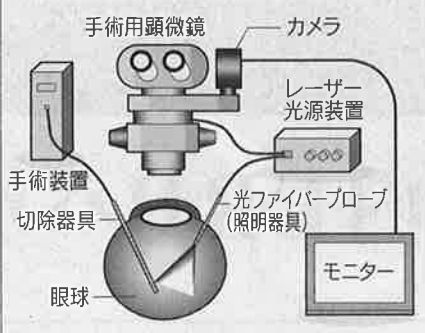
旅行を組み合わせた新たな商品開発を加速、競合他社と差別化する。「第1回エコアイラン」(第1回エコアイラン)

2泊3日コースを用意し、到着日にはマラソンランナーの谷川真理氏がランニング方法や暑さ対策を指導する。料金は1人2万5800〜3万4800円(交通費や宿泊

沖縄県情報産業協会(大城弘道会長)は25日、10月に沖縄県で開催された「第2回沖縄IT見

同協会は来年予定していた「第2回沖縄IT見

大分大と西日本電線が開発する装置のイメージ



目の手術時、眼底“生中継”

西日本電線・大分大 実用化へ装置開発

西日本電線は大分大学と共同で、目の手術中に眼底の病変をリアルタイムで把握できる装置の開発に乗り出した。2012年夏をめどに完成させて、臨床試験を経て実用化を目指す。手術の精度を高めるのに役立つほか、手術の間短縮により患者の負担も減らすことができる。

患者の負担軽減に一役

を活用、今回の共同研究で医療分野への進出を狙う。装置は、手術中に眼球内に光ファイバーを使った微細な照明器具(プローブ)を挿入し、血管の様子が見えるように、注射した造影剤に対応したレーザー光を照射する。手術は、眼球の顕微鏡で、眼底の疾患部をリアルタイムで観察できる仕組み。

基本技術は大分大学医学部と工学部が開発した。写真を用いた診断画像に比べて「手を動かさずとも両方の精度を高められる」(大

分大の井上 授)という

一、授が開発した。一、授が開発した。一、授が開発した。